

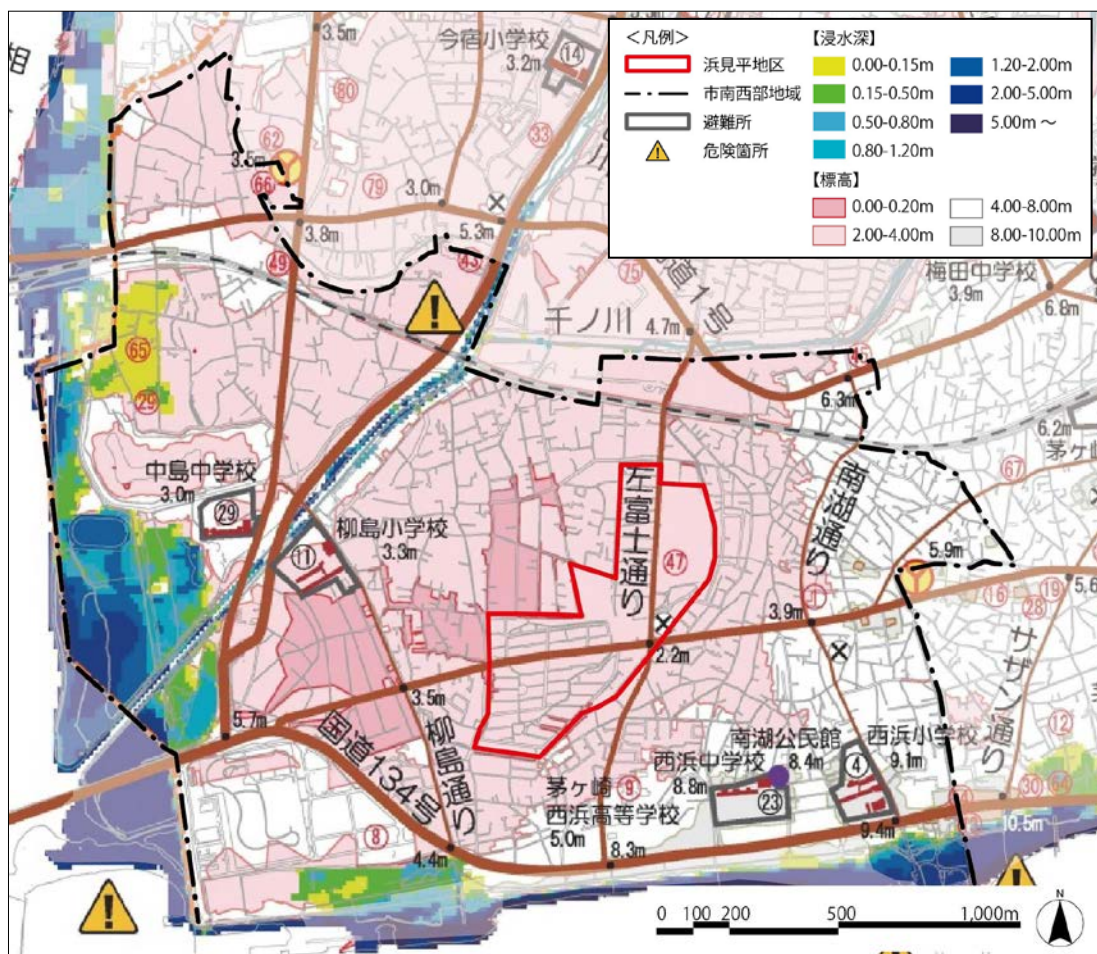
4 都市防災

(1) 災害想定

ア 津波

茅ヶ崎市地域防災計画（地震災害対策計画）（平成 27 年 11 月修正、茅ヶ崎市防災会議）では、平成 24 年 3 月に神奈川県が示した津波想定図をもとに、本市に甚大な被害をもたらすと予測されている慶長型地震、元禄型関東地震と神縄・国府津―松田断層帯地震の連動型地震、南関東地震の浸水予想図を重ねあわせ、茅ヶ崎市津波ハザードマップの最大の浸水深・区域を示しています。

市南西部地域では、相模湾や相模川沿岸に浸水区域があり、津波による被害を軽減するための対策が必要です。



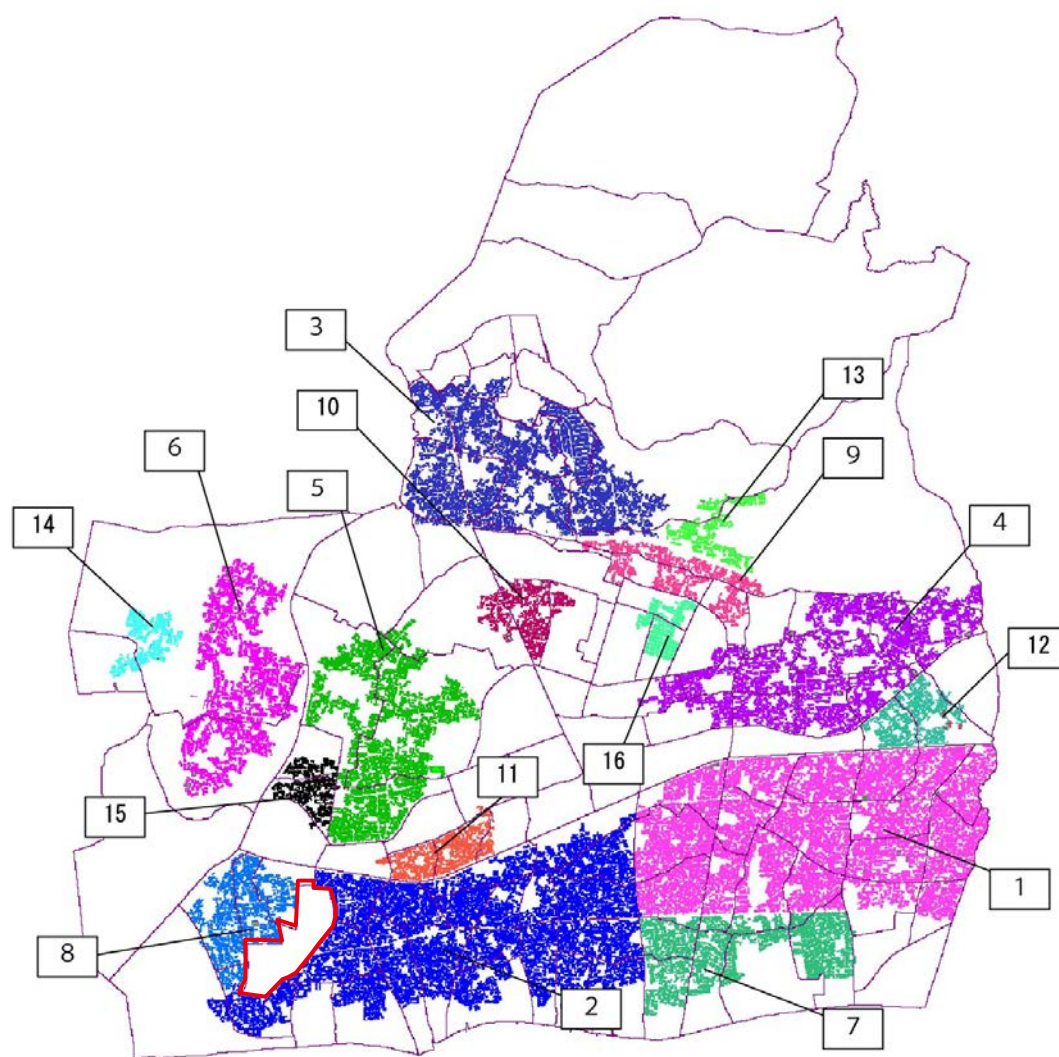
出典：茅ヶ崎市津波ハザードマップ（平成 24 年 6 月）

■津波における浸水深

イ 火災（延焼クラスター）

平成 20 年度地震による地域危険度測定調査報告火災危険度では、建物から出火し、延焼する危険性を測定し、出火を放置した場合に最終的に延焼する建築群を延焼クラスターとして示されており、市南西部地域はクラスター 2 及び 8 があるものの、浜見平地区はクラスターに含まれていない状況となっています。

浜見平地区の安全性を確保するためにも、隣接する延焼クラスターの解消を図っていくことが必要です。



出典：平成 20 年地震による地域危険度測定調査報告（平成 21 年 3 月）

■500 棟以上の建物数で構成されているクラスター(延焼運命共同体)

表 クラスターを構成する建物数

クラスター番号	クラスターを構成する建物数	クラスター番号	クラスターを構成する建物数
1	10,671[棟]	9	965[棟]
2	9,241[棟]	10	747[棟]
3	4,820[棟]	11	744[棟]
4	4,574[棟]	12	696[棟]
5	3,528[棟]	13	550[棟]
6	2,681[棟]	14	517[棟]
7	2,590[棟]	15	509[棟]
8	1,419[棟]	16	508[棟]

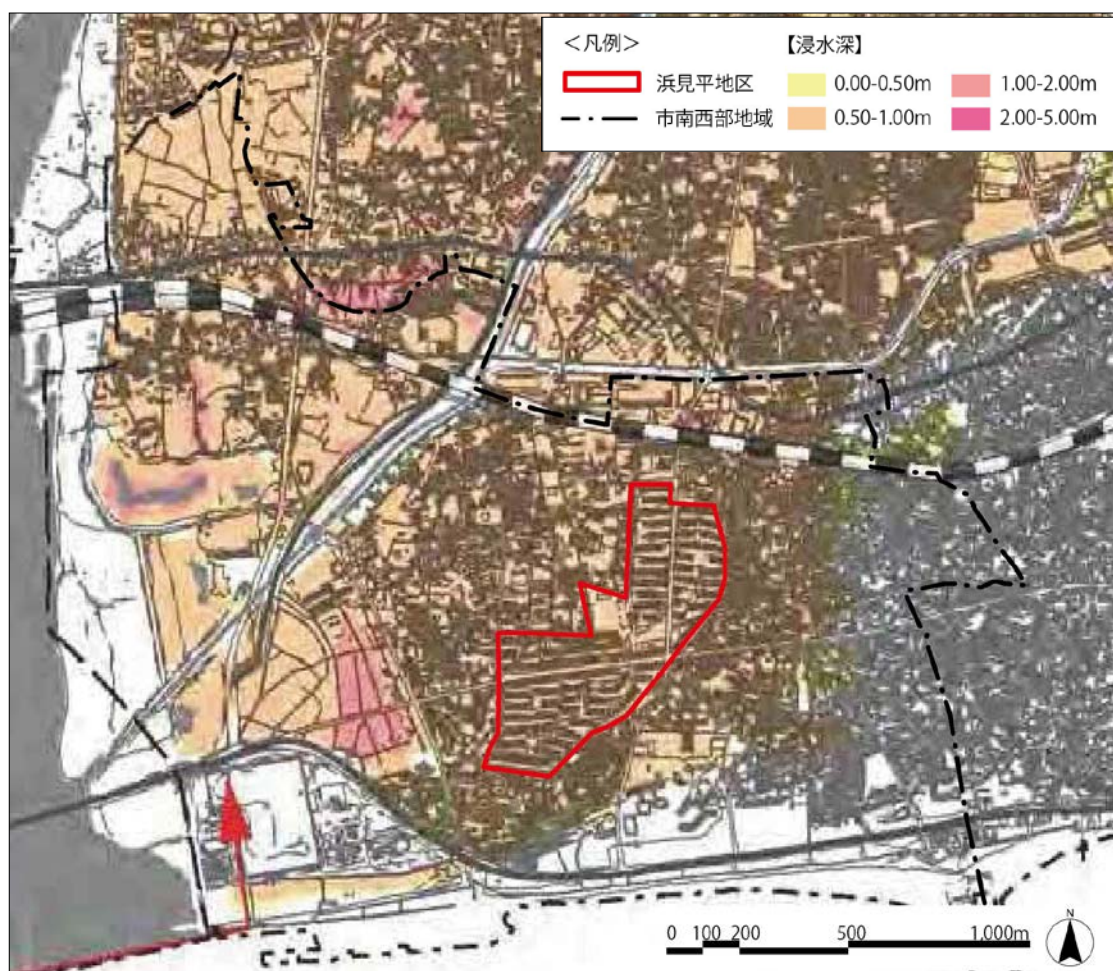
出典：平成 20 年地震による地域危険度測定調査報告（平成 21 年 3 月）

ウ 浸水

①相模川

平成 28 年 5 月 30 日に国土交通省京浜河川事務所が公表した「相模川水系相模川洪水浸水想定区域図」(神川橋から海まで)と平成 29 年 3 月 31 日に神奈川県が公表した「相模川水系相模川洪水浸水想定区域図」(相模原市緑区川尻字向原地先から神川橋まで)を重ね合わせた合図では、想定し得る最大規模の降雨(年超過確率 1/1,000 程度の降雨量を上回る大雨、2 日間の総雨量(576mm))で、相模川が氾濫した場合の浸水想定区域を示しています。これによると、浸水した場合に予測される浸水深は、市南西部地域の大部分が 0.5~2.0m となっています。また、その継続時間も 1 日~3 日以上となっています。

相模川の氾濫による被害を軽減するための対策が必要です。



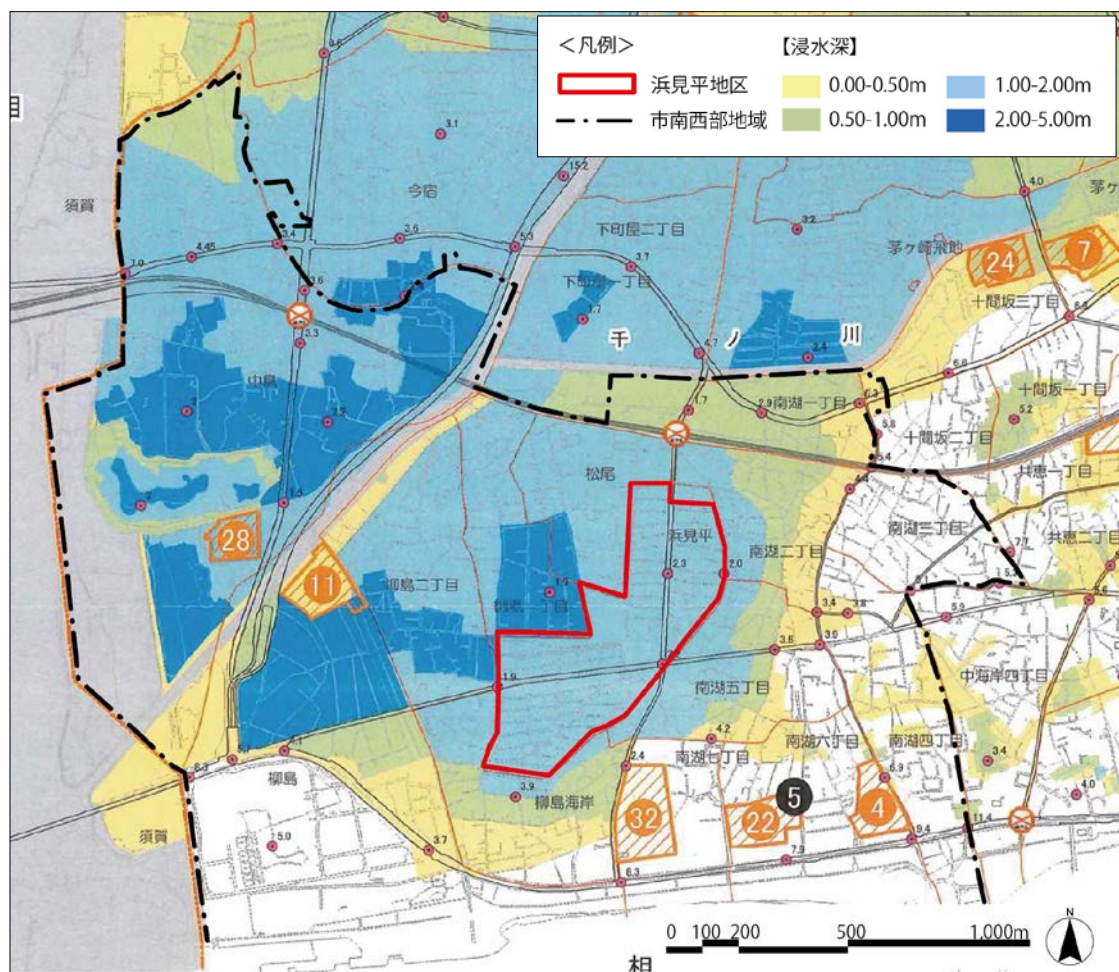
出典：『相模川水系相模川洪水浸水想定区域図(最大想定規模)(合図)』（平成 29 年 3 月 31 日、神奈川県）

■相模川水系相模川洪水想定区域図(想定最大規模)

②小出川・千ノ川

神奈川県が作成した「小出川・千ノ川浸水想定区域図」（想定雨量：概ね 50 年に 1 度程度起こる大雨 24 時間雨量 239 ミリ、ピーク 1 時間雨量 81 ミリ）を基にして、茅ヶ崎市が作成した「茅ヶ崎市洪水ハザードマップ小出川・千ノ川・駒寄川及び内水版」（平成 20 年 3 月）では、湘南地区の大部分が浸水深 2.0～5.0m と浸水深 1.0～2.0m の区域となっており、浜見平地区も浸水深 1.0～2.0m となっています。

小出川・千ノ川の氾濫による被害を軽減するための対策が必要です。



出典：茅ヶ崎洪水ハザードマップ小出川・千ノ川・駒寄川及び内水版（平成 20 年 3 月）

■小出川・千ノ川等洪水想定区域図

(2) 防災空間等

茅ヶ崎市地域防災計画（平成27年11月修正、茅ヶ崎市防災会議）[平成29年度見直し予定]では、防災機能を考慮した公園施設や延焼遮断帯、道路、避難場所、防災上の活動拠点等といった防災空間の整備を進め、「災害に強いちがさき」を実現していきますとしており、現在、市南西部地域では、次の防災空間等が整備されています。

ア 避難所

茅ヶ崎市地域防災計画では、市南西部地域において、以下の避難所*と2次避難所が指定されています。

表 市南西部地域における避難所及び2次避難所

区分	施設名	所在地
避難所	西浜小学校	南湖六丁目 5-8
	柳島小学校	柳島 1594
	西浜中学校	南湖六丁目 15-3
	中島中学校	中島 1469-2
2次避難所	2次避難施設*	県立茅ヶ崎西浜高等学校
	福祉避難施設*	特別養護老人ホーム湘南ベルサイド
		介護老人保健施設ふれあいの渚

イ 広域避難場所

茅ヶ崎市地域防災計画では、市南西部地域において、広域避難場所*は、県立茅ヶ崎西浜高等学校の1箇所が指定されています。

表 市南西部地域における広域避難場所

名 称	総面積 (㎡)	安全面積 (㎡)	収容可能人口 (人)
県立茅ヶ崎西浜高等学校	31,509.56	25,201.86	12,600

ウ 津波一時退避場所

茅ヶ崎市地域防災計画では、津波から一時的に身を守るために避難をする、市と協定を結ぶ民間施設や公共施設を津波一時退避場所として位置付け、次頁表のとおり指定しています。



マーク



ハマミーナ（茅ヶ崎市南西部複合施設）の設置状況

■津波一時退避場所のマークと設置状況

- *避難所：災害により住居を失った者または在宅での避難生活が困難な者等が一定期間滞在し、避難生活を送るための施設
- *2次避難施設：原則として、多数の避難者により避難所の避難スペースが不足する場合に、必要に応じ協定等に基づき開設する施設
- *福祉避難施設：原則として、避難所での生活が難しく、福祉措置等が必要な避難者の避難先として、必要に応じ協定等に基づき開設する福祉施設等
- *広域避難場所：災害により大規模延焼火災が発生した場合に、その輻射熱や煙から緊急的に身を守るために避難する場所

表 市南西部地域における津波一時退避場所

分類	施設名	所在地
公立 小中学校	西浜小学校	南湖六丁目 5-8
	柳島小学校	柳島 1594
	西浜中学校	南湖六丁目 15-3
	中島中学校	中島 1469-2
その他施設	南湖会館	南湖四丁目 6-1
	相模川流域下水道柳島管理センター	柳島 1900
	県立茅ヶ崎西浜高等学校	南湖七丁目 12869-11
	特別養護老人ホーム 湘南ベルサイド	中島 736-1
	ベルパーク湘南茅ヶ崎	中島 1379 ほか
	コンフォール茅ヶ崎浜見平団地	浜見平 14
	ビックヴァングラウンヴァーク茅ヶ崎	中島 1056-1
	Y・S リバリュール	中島 782-2
	茅ヶ崎ガーデンハウス	柳島一丁目 4-6
	ニューイースト湘南茅ヶ崎	南湖四丁目 22-42
	クリオ茅ヶ崎柳島海岸	柳島海岸 8-1
	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	南湖一丁目 6-11
	オハナ茅ヶ崎ガーデニア	浜見平 422-9
	ハマミーナ（BRANCH 茅ヶ崎）	浜見平 11-1
	ふれあい麗寿	南湖一丁目 6-15
	BRANCH 茅ヶ崎 2	浜見平 3-1

資料：茅ヶ崎市ホームページ津波一時退避場所（平成 29 年 9 月 4 日現在）

エ 飲料水兼用貯水槽（100 t）の設置

飲料水兼用貯水槽（100 t）は、現在、市内に 9 か所整備されており、しろやま公園には平成 26 年に整備されています。

オ 防災用備蓄倉庫の設置

防災備蓄倉庫は、公立小中学校や協定先等に整備されており、しろやま公園には平成 26 年に整備されています。また、ハマミーナ（茅ヶ崎市南西部複合施設）には、自家発電装置や食糧の備蓄を収納しています。

カ 緊急輸送道路等

市南西部地域の緊急輸送道路としては、県指定の 1 次路線として、国道 1 号、新湘南国道、国道 134 号が指定されており、県庁、広域拠点、市町村対策本部、物資受入港（湘南港）等の連絡を担っています。

また、地区の東西軸である鉄砲道と南北軸である左富士通りを市指定の緊急輸送道路を補完する道路としており、市内各拠点と防災倉庫、各避難所等を結んでいます。

左富士通りは、防災機能を持ったしろやま公園等への避難ルートとしても機能するため、周辺住民が安全に利用できるよう、電線類を地中化し、ゆとりある歩行者空間が整備されており、鉄砲道についても同様に整備していく必要があります。

